

1階＝大ホール(1,951席)小ホール(448席)楽屋(4室)
リハーサル室(109㎡)和室(20畳2室)小ホール
控室(37㎡)浴室(2室)視聴覚室(108席)
会議室(24名)I T V室、事務室、応接室、収蔵
庫、その他

2階＝会議室兼展示室(466㎡)事務室、収納室、食堂等
3階＝展示室(505㎡×2室)ギャラリー(363㎡)事
務室、倉庫等

塔屋＝空調機械室 エレベーター機械室

(2) 歴史資料館

1階＝展示室(180㎡)消毒室、消火機械室
2階＝研究室(64㎡)閲覧室(45㎡)マイクロフィルム
室(61㎡)文書庫(272㎡)事務室等
3階＝文書庫(272㎡)文化財収蔵庫(455㎡)

2 設 備

(1) 一般設備

- 空調和設備＝冷暖房、換気設備
- 給排水衛生設備＝給排水、ガス、一般屋内消火設備、ス
プリンクラー及びドレンチャー、炭酸ガス消火設
備、浄化槽
- エレベーター設備＝乗用(11人乗)荷物専用(積載荷
重4トン)
- 電気設備＝一般照明(蛍光灯、白熱灯)内線電話(自
動交換)I T V設備、T V中継設備、館内放送設
備、火災報知機、自家発電設備(100K V A)

1 文 化 会 館

電気時計

(2) 舞台設備

- 舞台照明設備＝フットライト(68灯)ボーダーライト
(3列225灯)サスペンションライト(4列84灯)
 Horizontライト(上下各72灯)シーリングライ
 ト(23灯)各種スポットライト、調光卓
- 舞台音響設備＝主調整卓(マイク入力24回路)ライン
 入力5回路)マイクロホン(32台)レコードプレー
 ヤー(2連)テープレコーダー(2台)マイクエ
 レベーター装置(3台)各種スピーカー等
- その他の舞台設備＝緞帳2枚、絞り緞帳1枚、各種幕類
 所作台、音響反射板、迫りあげ装置(大迫り、小
 迫り、オーケストラ迫り、花道スッポン)グラン
 ドピアノ(2台)つり物16本、仮設能舞台1式等
- 映写設備＝16mm映写機2台、映写用張り込みスクリー
 ン

以上舞台設備については大ホールの設備の概要を記載した
が、小ホールにも規模は小さいが照明、音響、映写等の設備
が整っている。

第3節 事業の実施状況

昭和52年度に財団法人福島県文化センターが実施した事業
の概要は次のとおりである。

事業名	実施期日	開催場所	事業内容	入場参加人員
福島県バレエ フェスティバル	5月1日	文化センター	県民による洋舞の発表公演 1日1公演 出演＝県洋舞家協会会員10団体 230名	1,500人
少年劇場 (演劇教室)	6月11日～18日	白河、相馬、福 島、郡山、会津 若松、二本松	小学校教育課程の一環としての演劇観賞教室 出演＝劇団仲間、演目「ふりむくなべドロ」 県内6市 7日間11公演	44校 12,684人
親子劇場	7月3日	文化センター	幼児対象ぬいぐるみ人形劇、出演＝演劇センター飛行船 演目＝「シンドバットの不思議な冒険」1日2公演	4,000人
キエフ バレエ公演	8月24日	文化センター	一般向け観賞事業 出演＝キエフバレエ団 曲目＝「くるみ割り人形」1日1公演	1,500人
福島県吹奏楽 トップコンサート	9月18日	郡山市	県民による吹奏楽の発表公演 1日1公演 出演＝県吹奏楽連盟加盟団体 10団体 620名	1,300人
福島県コーラス フェスティバル	10月7日	文化センター	県民による合唱の発表公演 1日1公演 出演＝県合唱連盟加盟団体 5団体 380名	1,000人
文化講演会	10月9日	いわき市	(財)日本古典文学会との共催による古典文学講演会 講師＝お茶の水大学 井本農一、犬養 廉の両教授	200人
オーケストラ 公演	11月2日	文化センター	文化庁移動芸術祭巡回公演 1日1公演 出演＝読売日本交響楽団、指揮 山田一雄	1,500人
文化講座	52年4月～53年3月	文化センター 郡山市	NHK大学講座(教育テレビ)利用の講座毎月1回 スクーリング「思想史」「心理学」「文学」ほか2コース	参加者 250人
映画教室	・52年5月より隔月 ・夏休み中週1回	文化センター	一般向け＝文化映画、劇映画等 年6回 児童向け＝科学映画、児童劇、漫画映画 夏休み中	延べ 980人